

特集：広報1500号

流山ライフをより豊かにする 一番身近な情報紙

皆さんの笑顔とともに1500号



小山小学校6年
(左から)井上 菜月さん、塩崎 綾香さん、日置 悠詩君、三木 悠暉君

これからも、
読まれるために、
伝えるために。



創作童話グループ「かざぐるまの会」
(左から)三輪 円香さん、中村 千鶴子さん、白木 恵委子さん

昭和27年(1952年)から66年間途絶えることなく発行してきた「広報ながれやま」が、今号で1500号を迎えました。これからも市民の皆さんと市政をつなぐパイプ役として、さまざまな分野でまちの情報をお届けしていきます。
☎秘書広報課 7150-6063 ID1007526



ジャズトランペッター
曾根 麻央さん



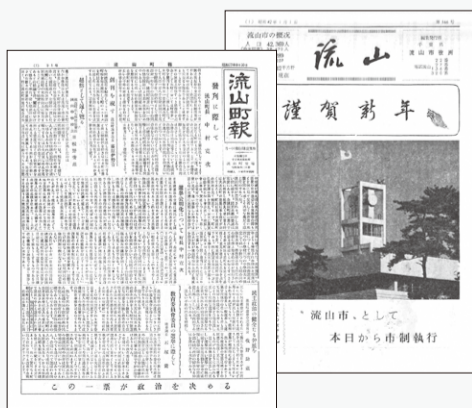
英会話講師・彫刻家
ニフユス ヨスさん



1500号からえりすぐり! 記念電子ブックをお楽しみください!

これまで発行してきた広報1500号の中からセレクトした1面のダイジェスト版が電子ブックで見られます。話題になった出来事や周年の節目などを中心に全21号を選びました。流山市の軌跡を、広報紙でたどってみませんか。

ID1018672



井崎市長からのメッセージ

あなたの暮らしをより安心に、
より豊かにする情報紙

広報ながれやまは、66年間休むことなく、市の現状や新たな施策、暮らしに役立つ情報、まちの話題などをお伝えしてきました。記事を振り返ると、今までにたくさんの市民に登場いただいております。流山の発展は市民の皆さんの活躍で作り出してきたことがわかります。

1500号を通過点に、これからも皆さんの生活をより安心かつ豊かにするための情報を、しっかりお届けしてまいります。



流山市長
井崎 義治



地域交流・仲間づくり

市民の出会いの場でもある広報紙。「広報ながれやま」をきっかけにスタートした、仲間づくりの取り組みや活動を紹介します。

趣味・学習

きっかけは「創作童話コーナー」

創作童話グループ「かざぐるまの会」(代表 三輪 円香さん)



(後列左から)代表の三輪 円香さん、風間 日出子さん、岡崎 裕美さん、池田 敏恵さん(前列左から)古田 節子さん、中村 千鶴子さん、白木 恵委子さん、鶴沢 滋子さん

創作童話グループ「かざぐるまの会」は、30年以上続く歴史のあるグループで、月に1回、作品を持ち寄って合評会を行っています。より良いものにしたいという思いから、議論は毎回白熱します。

から5年間、広報ながれやまの児童文学コーナー「東葛地区の民話」「季節のメルヘン(=画像)」「こどもの世界」などで、読み切りの創作童話を発表しました。



会の同人誌「かざぐるま」や作品集「風のしっぽー13のものごと」は、市内の各図書館や小学校、児童センターなどで読むことができます。「童話には、心がじんわりしたり、きゅんとしたりする作品がたくさんあるので、大人にこそ読んでもらいたいです」(代表・三輪円香さん)。「文学と聞くと難しい印象があるかと思いますが、子どもの何気ない動作やことばを書き留めるだけでも、すてきな作品になります」(副代表・池田敏恵さん)。子育て中のお母さんなど、若い世代にもぜひ参加を、と皆さん笑顔です。

創業・地域活性

地元で創業のきっかけをもらいました

ママ向け超実践型創業スクール(平成27年度受講)あかり館カノコノコオーナーデザイナー 工藤 浩美さん



フリーのグラフィックデザイナーとして仕事をしながら、小さな雑貨店の経営に奮闘していた折、広報で目に留まった「ママ向け超実践型創業スクール」に参加しました。人前でプレゼンするのは勇気が要りましたが、自分のアイデアをまとめるのにとってもいい経験になり、人脈も格段に広がりました。

市では、昨年10月に国の認定を受けた創業支援事業計画に基づき、市内で創業・起業しようとする方を支援しています。5~7月に行われた本セミナーの第1期では、ビジネスモデルやコミュニケーションを学びました。第2期ではさらに一歩踏み出し、ビジネスモデルや企画書の作り方などを学びました。講師は引継ぎ、市内で起業した株式会社新井川力太郎建設 代表取締役 新井川 力太郎さん。事業説明も開催しますので、初めての方も、ぜひ参加ください。期10月7日~12月16日の第1~3水曜10時30分~12時30分。期15人(先着順) 回6,000円 市役所所長工藤へ電話※1歳6か月以上就学前児の一時保育あり(先着10人、9月9日まで要申し込み、各種連絡のためメールアドレス(PC用)が必要)

ネットワークが広がったことで、「地元流山を盛り上げたい」という思いにぴったりの物件に出会うことができ、昨年10月に移転オープンしました。和紙を使ったあかりや手作り雑貨などを扱うほか、夢だった自家製酵母パンの販売や、筆文字やヨガなどのワークショップも行っています。流山本町の築80年の古民家で、癒しの空間を提供していきたいと思っています。

当時の記事(=右画像)と創業スクールのプレゼン内容(=左画像)

「広報ながれやま」の写真をカラーで!! 市ホームページのPDF版などで公開

「広報ながれやま」はモノクロ紙のため、本来カラーの写真や画像もモノクロで発行しています。市ホームページで公開するPDF版「広報ながれやま」では、使用した写真や画像をカラーで表示していますので、ぜひご覧ください。なお、文字やイラストなどはモノクロ表示のままです。ID1007526

平成10年4月1日号から昨年度までのバックナンバーは市ホームページ(ID1007541)に掲載されています。

また、創刊号(昭和27年9月20日号)から平成9年度(平成10年3月15日号)までは縮刷版として、各図書館、市役所情報公開コーナーで閲覧できます。

ロゴの変遷



市章を配したロゴの募集記事

私も登場しました!

昔も今も流山PERSON

広報ながれやまには、今までたくさんの市民の方に登場していただきました。過去に紙面に登場し、今も流山市を拠点に活躍している2人に、現在の活動や流山市の魅力を伺いました。

流山を拠点に音楽を楽しむ文化を育みたい

ジャズトランペッター 曾根 麻央さん(野々下在住)



さまざまな分野で活躍する方を紹介するコーナー「きらり・人」

(平成14年5月1日号~平成15年3月15日号掲載)記事では、親子バンドの福祉施設での演奏活動や、トランペットだけでなく、ピアノや作曲でも活躍したいと語ってくれました。ID1008026

「トランペットもピアノも作曲もできるエンターティナーになりたい」と話していた平成15年のインタビュー記事を読み返して、「ぶれていなくてよかった」と思いました。当時、僕は小学5年生。トランペットを始めたばかりでどんどん上達していった時期でした。

大きな転機は高校時代、日本を代表するジャズトランペッター・タイガー大越さんのグループキャンプで、同世代のミュージシャンと出会ったことです。彼らとともに音楽経験を深める中で、アーティストとして演奏することを意識するようになり、プロを目指してアメリカのパークリ音楽大学に進学しました。大学院では「練習室にこもってはいけぬ。世の中に目を向け、音楽で世の中のために何ができるかを考えなさい」との教えを受けました。流山ジャズフェスティバルへの参加も、自分がふるさとのた

流山ジャズフェスティバルに出演!

第8回流山ジャズフェスティバルが6月23日から9月8日までの約2カ月間、全17会場24ステージで開催されます。オープニングは猪俣猛さん率いるビッグバンドが登場。東深井中学校吹奏楽部との共演もあります。



共演する東深井中学校吹奏楽部での演奏指導

曾根さんの出演

- ①猪俣猛 JAZZ ORCHESTRA 2018 6月23日出14時から(13時30分開場) 文化会館 ID1014857
 - ②曾根麻央カルテット Brightness Of The Lives フライトネス オフ ザ ライフ 8月12日(日)14時から(13時30分開場) 生涯学習センター(流山エルズ) インタープレイトリオ
 - ③曾根麻央トリオ Interplay Trio 8月19日(日)14時から(13時30分開場) 生涯学習センター(流山エルズ)
- 【共通事項】
▷チケット代=前売2,000円、当日2,500円、高校生以下500円
☎電話または直接窓口へ(②・③は生涯学習センター(流山エルズ)のみ)
☎①文化会館 ☎7158-3462
②・③生涯学習センター(流山エルズ) ☎7150-7474

オランダと日本のかけ橋に

英会話講師・彫刻家 ニフユス ヨス(ヨセウス)さん(東深井在住)



転入の方に出身地を伺うコーナー「私のふるさと」(平成6年4月15日号~平成8年3月15日号掲載)記事では、ヨスさんの故郷・アムステルダムの地名の由来や水辺の美しさ話してくれました。

平成3年に初めて東深井を訪れたとき、あちこちに畑があるのを見て「ずいぶん田舎だな」と思ったことをよく覚えています。私はオランダの首都アムステルダム出身なので、都会から田舎へと生活は一変しましたが、その変化を楽しみつつ、古武道を始めて、友達もできました。

平成6年に広報ながれやまの取材を受けたときに赤ちゃんだった娘も大人になり、時の流れを感じますが、静かで暮らしやすいという東深井の印象は、今も変わりません。

現在は自宅近くのアトリエで英会話教室を開いているほか、彫刻を制作したり、畑を耕したりと、幅広く活動しています。昨年からは、市内の小中学生を対象にしたオランダ教室の講

師もしています。授業では、利根運河や長崎の出島などさまざまなテーマをクイズ形式にして、オランダを紹介しています。流山の未来を担う子どもたちにオランダの文化を伝えることができ、さらに充実した日々を送っています。

30年ほど前は、外国人というだけで距離を置かれてきましたが、最近はいざつとしてくれる子どもたちも多くなりました。今後、流山の国際化もさらに進み、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、オランダのホストタウンとしての役割を市民の皆さんの力で果たしていくことになるのではないのでしょうか。私もそのお手伝いをしながら、2年後を楽しみにしたいと思います。



オランダ教室で講義 全市立小学校の6年生を対象に、オランダの地理や日本との交流の歴史などを解説します。今年度も5~7月にかけて、順次行われます。オランダ教室の開催日には、オランダの家庭料理「エルテンスープ」などが給食で提供されます。

広報紙面で見ると 流山のあゆみ

第1号 創刊号発行 昭和27年(1952年)9月20日号。「流山町報」として創刊。月1回発行で、第1号のテーマは「選挙」でした。

第70号 「広報ながれやま」にリニューアル 昭和36年(1961年)5月15日号。名称を「広報ながれやま」に変更

第83号 月2回発行に 昭和38年(1963年)8月1日号。発行日が毎月1日・15日となる



第166号 市制施行 昭和42年(1967年)1月1日発行。県内20番目の市として誕生



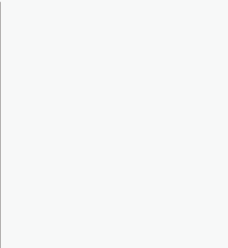
第409号 市制施行10周年 昭和52年(1977年)1月1日号。福島県相馬市と姉妹都市に



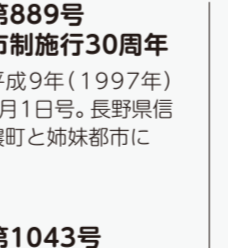
第461号 人口10万人を突破 昭和54年(1979年)3月1日号。県内10番目の10万人都市に



第649号 市制施行20周年 昭和62年(1987年)1月1日号。「平和都市宣言」をし、つくばエクスプレスの誘致活動を通じて交流のあった東京都台東区から「平和の像」が寄贈され、市役所正面玄関の前庭に設置されました。



第889号 市制施行30周年 平成9年(1997年)1月1日号。長野県信濃町と姉妹都市に



第1096号 つくばエクスプレス開業 平成17年(2005年)8月15日号



第1111号 ページ 毎号8頁に増頁 平成18年(2006年)4月1日号



第1129号 市制施行40周年 平成19年(2007年)1月1日号。健康都市宣言



第1268号 市制施行45周年 平成24年(2012年)1月1日号。石川県能登町と姉妹都市に



第1440号 特集:流山市名誉市民の決定 平成28年(2016年)10月11日号。本市初の名誉市民に日本画家・後藤純男氏



特集号 市制施行50周年 平成29年(2017年)1月1日号。人口18万人を突破。記念式典に合わせ、50年間の歴史を振り返る記念映像を作成 ID1006900



第1500号 平成30年(2018年)6月11日号

紙だけじゃない！ いつでもどこでも読める 広報ながれやま！

皆さんはいつものように広報を読んでいますか？ どのような情報を、どんなスタイルで読んでいくのか、これからの広報について話していただきました。

より強い「絆」をつくる「広報ながれやま」

江戸川大学 メディアコミュニケーション学部
マス・コミュニケーション学科 特任教授 残間 義和さん

「広報ながれやま」1500記念号発刊おめでとうございます。

広報紙には、行政と市民をつなぐ大切な「絆」の役割があると思います。その製作過程に、「広報協力員会議」というかたちで、微力ながら本学の学生たちと共に参加することができ、心から感謝しています。

私自身、高校生のときに流山に転入し、縁あって市内の大学で教鞭を執るようになりました。日頃から学生たちには「教材は私たちの周りに多くあります」と伝えています。もちろん、広報ながれやまもその一つです。



長く続いている広報紙は、それぞれの時代を映す「鏡」だと思います。その時に必要な行政情報を提供し、また市民の活動を紹介するほか、時には問題提起を行いながら、より一層の市民生活の充実を図ることのできる情報が満載です。過去の広報紙と現在のものを比較すると、流山市の発展の歴史を発見できると思います。

今後、多様化する時代にあってはますます情報量が増えることが予想されます。紙面のスペースには制限があるため、どうしても伝えられない部分が出てきますが、紙媒体の広報紙とウェブの効果的な融合を図ることでカバーできるのではないのでしょうか。ウェブ上では比較的たくさんのコンテンツを盛り込むことができ、市のホームページにも深く掘り下げた内容が掲載されているものが数多くあります。広報ながれやまから発信される情報を活用して、地域での毎日の暮らしがより便利で、より豊かなものになることを願っています。

スマートフォンで手軽に読んでいます

江戸川大学 メディアコミュニケーション学部
マス・コミュニケーション学科 小川 茜さん

自分の身の回りのことを知るため、大学に入学して最初に手にしたのが学内のマスコミ自主講座コーナーで読むことができた「広報ながれやま」でした。

今は、スマートフォンに「マチイロ」のアプリをダウンロードして、電子ブック版の広報ながれやまもチェックしています。出先でもすぐに情報を確認できてとても便利です。

また、今年4月から、電子ブックやPDFの写真がカラーになりウェブで読む楽しさが増えました。今後小・中学生や高校生の活躍記事が増えるとさらに活気が伝わると思います。これからも読む人に笑顔を届けて、2000号を目指してほしいです。



紙とホームページを使い分けています

広報協力員 葛岡 昭男さん(平和台在住)

昭和44年に流山に転入してから、地域の情報を得るために「広報ながれやま」を読んできました。サラリーマン時代、10年ほど自社の社内報を担当していましたが、広報ながれやまのテーマや表現などを参考にしていた思い出があります。

平成26年に広報協力員に応募し、広報紙やホームページへの感想や意見を伝えるようになって、よりじっくりと読むようになりました。普段は紙の広報で読んでいますが、過去の印象に残った記事などをもう一度読みたいときは、すぐに記事が検索できるホームページのPDF版が重宝しています。今後も、暮らしに役立つ情報紙であることを期待しています。



広報紙の内容をデジタルで楽しもう！

インターネット環境があれば、「広報ながれやま」をどこでも簡単に読むことができます。いつでも気軽に情報をチェックしてみませんか。
☎ 秘書広報課 ☎ 7150-6063 ID 1007526

アプリ「マチイロ」でスマートフォンなどへお届け

スマートフォン タブレット端末



「広報ながれやま」をスマートフォンやタブレット端末向け無料アプリ「マチイロ」で配信しており、発行日に端末へ広報ながれやまが届きます(プッシュ通知)。

利用にはアプリケーションのダウンロード(無料※通信料は利用者負担)が必要です。

初めて利用する際には、簡単な設定が必要ですが、氏名やメールアドレスの登録は不要です。詳細は市ホームページをご覧ください。

ID 1008130

※「マチイロ」は株式会社ホープが提供するアプリケーションです。サービスは終了することがあります。広告の内容に市は一切の責任を負いません。

PDF版「広報ながれやま」

パソコン スマートフォン タブレット端末



市ホームページで公開しているPDF版「広報ながれやま」で、平成10年度以降のバックナンバーから最新号までがご覧になります。ID 1007526

※PDFファイルをご覧いただくには、「Adobe® Reader®」が必要です。お持ちでない方はアドビシステムズ社のサイトからダウンロード(無料)してください。

メルマガ版「広報ながれやま」

スマートフォン 携帯電話 パソコン



みどりのメールでは、携帯メルマガ版「広報ながれやま」を配信しています。イベント情報、市政情報、広報ながれやまの記事項目を携帯電話にお届けします。利用には登録(下記参照)が必要です。ID 1008138

ID検索を活用しよう！

市ホームページの検索ボックスに、広報に記載されているページID(ID0000000)を入力すると関連ページがご覧になります。



登録方法(スマートフォン・携帯電話の場合)

- 1.右のQRコードをスマートフォンや携帯電話で読み取ります。
- 2.「登録・変更」を選び、空メールを送信します。
- 3.すぐにメールが送信されますので、記載されているサイトにアクセスし、アンケートに答えて登録してください。

※一部の機種で対応していない場合があります。また、パソコンから登録する場合は、登録用アドレスreg@mobile.city.nagareyama.chiba.jpに空メールを送信してください。(注)通信料は利用者負担



「広報ながれやま」の配布方法

広報ながれやまは、発行日(毎月1日・11日・21日)の新聞の朝刊に折り込みで配布しています。また、各公共施設や市内の駅(専用ラックを設置)などでも配布しています。

新聞を購読していない世帯への配布

市内在住の方を対象に、インターネット不接続やお近くに公共施設がない場合などには、新聞販売組合を通じてポスティング(無料)を行っています。宅配を希望する方は、電話またはファクスで、住所・氏名・電話番号を市役所秘書広報課までご連絡ください。☎ 秘書広報課 ☎ 7150-6063 FAX 7150-0111 ID 1008136